

東大世界史から見る国際政治！

班のメンバー

組	番	氏名	組	番	氏名

第二次世界大戦後の世界秩序を特徴づけた冷戦は、一般に 1989 年のマルタ会談やベルリンの壁の崩壊で終結したとされ、それが現代史の分岐点とされることが少なくない。だが、米ソ、欧州以外の地域を見れば、冷戦の終結は必ずしも世界史全体の転換点とは言えないことに気づかされる。米ソ「第2次冷戦」と呼ばれた時代に、1990 年代以降につながる変化が、世界各地で生まれつつあったのである。

以上のことを踏まえて、1970 年代後半から 1980 年代にかけての、東アジア、中東、中米・南米の政治状況の変化について論じなさい。解答は、解答欄に 20 行以内（1 行約 30 字、計約 600 字）で記述し、必ず次の 8 つの語句を一度は用いてその語句に下線を付しなさい。

（東京大学 文 2016 年 文章を少し訂正）

アジアニース(注) イラン=イスラーム共和国 グレナダ 光州事件
サダム=フセイン シナイ半島 鄧小平 フォークランド紛争
(注) アジアの新興工業経済地域(NIES)

ヒント1 問題文をよく読み、解答を要求されている「地域」と「時代」を絞り込もう。

時代: 1970 年代後半～1980 年代 (1990 年代以降につながる変化)

地域: 東アジア、中東、中米・南米

ヒント2 指定語句は、「条件」でもあり「ヒント」でもある。指定語句を参考に、要求されている解答（部分点となる用語や表現）を推測しよう。

ここでは「国」や「地域」を推測するとよい。

ヒント3 いきなり文章を書き始めるのではなく、簡単なレイアウト図を作ろう。

ヒント4 問題文をよく読み、解答の「方向性」の軸を作ろう。

最初は事実の羅列でも仕方ないが、美しい解答は文章の最初から最後までひとつのテーマによって貫かれたものになります。

政治状況の変化=民主化の進展

レイアウト図を作ろう!

指定語句	国(地域)	関連語句
アジアニース	韓国・台湾(東アジア)	経済発展
イラン=イスラーム共和国	イラン(中東)	ホメイニによるイラン革命
グレナダ	グレナダ(中米)	レーガン政権のアメリカによる侵攻
光州事件	韓国(東アジア)	軍事政権による弾圧→盧泰愚政権
サダム=フセイン	イラク(中東)	イラン=イラク戦争
シナイ半島	エジプト・イスラエル(中東)	エジプト=イスラエル平和条約
鄧小平	中国(東アジア)	改革開放→天安門事件
フォークランド紛争	アルゼンチン(南米)	イギリスとのフォークランド紛争

解答欄

東アジアでは、中国が文化大革命終了後に**鄧小平**が改革開放を唱えて社会主義市場経済を推進し、経済発展に成功した。しかし共産党の一党独裁は維持され、1989年には民主化要求を政府が弾圧する天安門事件が起きた。

韓国は朴正熙の時代に経済発展に成功し、**アジアニース**の一員となった。しかし政治的には軍事政権が続き、民主化運動を弾圧する**光州事件**が起きた。その後、盧泰愚政権で民主化が実現し、1993年には最初の文民大統領である金泳三政権が成立した。

中東では、1979年にシーア派のホメイニの指導でイラン革命が起こり、宗教国家**イラン=イスラーム共和国**が誕生した。革命の波及を恐れたイラクの**サダム=フセイン**は、アメリカの支援を受けてイラン=イラク戦争を起こした。その後、湾岸戦争とイラク戦争でアメリカに敗れたフセイン政権は崩壊し、イラクは混乱した状態が続いている。

また、1979年にエジプト=イスラエル平和条約が結ばれ、**シナイ半島**がエジプトに返還された。しかしエジプトのサダト大統領は暗殺され、その後はムバラクの長期独裁政権が成立した。パレスチナ問題も解決されていない。

中南米では社会主義政権の**グレナダ**へアメリカのレーガン政権が軍事侵攻を行った。アルゼンチンでは軍事政権が**フォークランド紛争**を起こすが、イギリスのサッチャー政権に敗れて民政に移行した。他の中南米諸国も累積債務問題や不況、貧富の差のため国民の不満が高まり、1980年代に民主化が進んだ。(600字)